

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀市神野東2-6-10
団 体 名 （一財）佐賀県母子寡婦福祉連合会
代表者職・氏名 理事長 久米 幸子

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

2020年5月6日付け県協第275号、2020年8月17日付け県協第945号及び2020年11月6日付け県協第1466号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	佐賀県ひとり親家庭支援事業
寄附受入額	511,750円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1、親子ふれあい野外研修 期間：令和2年7月25日～26日 場所・会場：鎮西町 佐賀県立波戸岬少年自然の家 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会 県内ひとり親家庭の親子26名 事業の要旨：日常生活では味わう事の出来ない自然体験、野外炊飯、キャンプファイヤーを体験することで自然を理解し保護する心、責任感、協力する態度を養う事が出来た。</p> <p>2、親と子のふれあい研修会 期間：令和2年11月15日 場所・会場：佐賀市 佐賀県ひとり親家庭サポートセンター 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会 県内ひとり親家庭100名 事業の要旨：ひとり親家庭の親子で竹とんぼ、クリスマスツリー等の物づくりを楽しんだ。</p> <p>3、佐賀県母子寡婦福祉研修大会 期間：令和2年11月1日 場所・会場：佐賀市 四季彩ホテル千代田館 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会、当団体会員、関係者60名の参加を得て、コロナ感染予防対策を徹底して開催 事業の要旨：母子寡婦福祉連合会の歴史を映像等で振り返る、作文発表・表彰</p> <p>4、トーク&トーク 期間：令和3年1月31日 場所・会場：佐賀市 佐賀県ひとり親家庭サポートセンター 主催者・参加者：佐賀県母子寡婦福祉連合会 県内ひとり親家庭100名を予定していたが、昼食を親子で作って食べる計画をしていたので、コロナ感染症が拡大している時期だったので、中止とした。</p>	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
<p>死別、離別等でひとり親家庭となり、ひとりで子育てと生計の維持を担わなければならないひとり親家庭の抱える悩みや問題は多い。行政が行う支援制度の研修会、ひとり親同士が語り合う研修会等を通じて、安心して生活し、子どもを育てることのできる環境をつくる手助けをすることによりひとり親家庭の自立につなげていった。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		佐賀県ひとり親家庭支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	61,750	第1回交付：61,750円
		288,000	第2回交付：288,000円
		162,000	第3回交付：162,000円
	佐賀県共同募金会	300,000	
	国立青少年教育振興機構	376,693	
	自己資金	169,598	
	収入計	1,358,041	
支 出	謝金	60,000	
	旅費	186,778	
	印刷製本費	241,890	
	消耗品費	407,848	
	使用料・賃借料	257,570	
	保険料	11,026	
	返礼品等の調達に係る費用	158,440	
	返礼品等の送付に係る費用	31,349	
	広報に係る費用	0	
	事務に係る費用	3,140	
	支出計	1,358,041	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。